

第2期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和5年度実績評価について

本市は、平成27年度から令和元年度までの5年間の計画期間とする第1期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、人口減少の克服に向けた対策を継続的に進めてきました。

こうした第1期の総合戦略で根付いた地方創生の意識や取り組みについて継続していく必要があり、さらに人口減少の状況を直視しつつ、SDGs等の時代の潮流も捉えながら地方創生に向けた施策を総合的かつ計画的に推進するため、法律に基づく「第2期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を令和2年3月に策定しました。

総合戦略では、計画期間（令和2年度から令和6年度までの5年間）における、各種の施策を着実に推進するため、定期的に総合戦略の実施状況や効果を検証し、必要に応じて見直しを行うPDCAサイクルを実施するとしています。

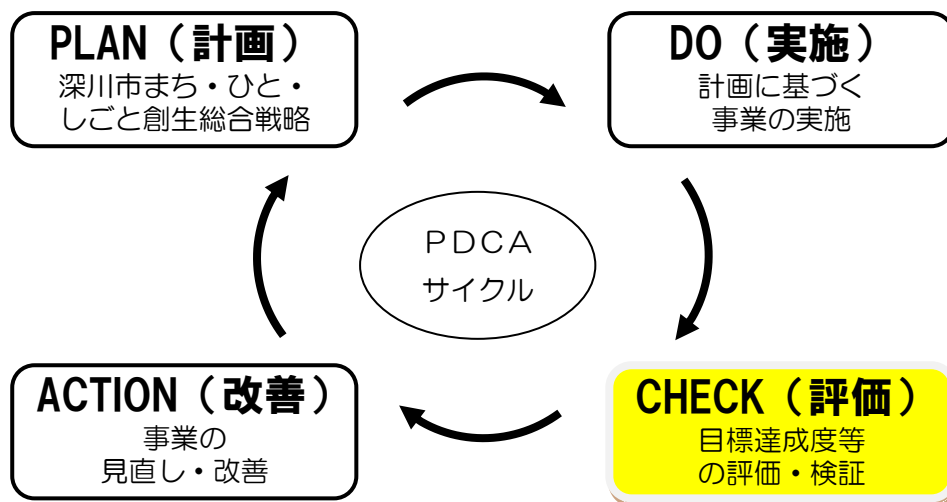
このため、総合戦略に掲げる数値目標、重要業績評価指標（KPI）及び具体的な事務事業について、国の交付金を活用した事業の検証報告に併せ、**令和5年度実績**の評価を行うものです。

また、本年度におきましては、第2期総合戦略計画期間の最終年度となっていることから、今回の実績評価は、次期総合戦略策定に向けた「第2期総合戦略のまとめ」としての位置づけを兼ねるものとなります。

1. KPIに基づく進捗管理とPDCAサイクルの実施（総合戦略抜粋）

総合戦略は、施策の進捗度を客観的に把握するため、施策ごとにアウトカム指標※1を原則とした重要業績評価指標（KPI）※2を設定しています。

総合戦略を着実に推進するため、定期的に総合戦略の実施状況や効果を検証し、必要に応じて見直しを行うPDCAサイクル※3を実施します。



※1 アウトカム指標

政策の実施により結果として市民にどのような便益がもたされたのか（アウトカム）を示す指標。

※2 重要業績評価指標（KPI）

Key Performance Indicator の略。政策ごとの達成すべき成果目標。

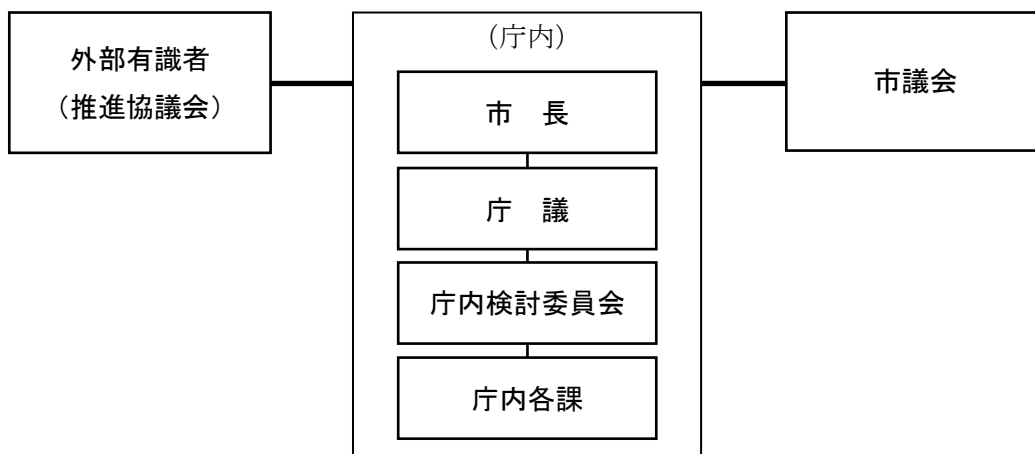
※3 PDCAサイクル

PLAN（計画）、DO（実施）、**CHECK（評価）**、ACTION（改善）の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法のこと。

2. 進捗管理体制

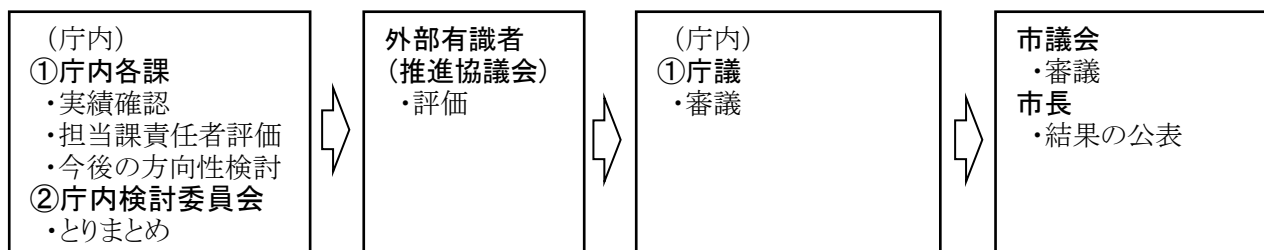
国は、総合戦略の効果検証に際して、外部有識者の参画と地方議会における審議を求めています。

本市においては、「深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会」委員を外部有識者と位置付け、推進協議会の参画を得て効果検証を行います。また、市議会へ検証結果を報告し、審議（決算審査特別委員会を想定）されます。



3. 評価の流れ

庁内で実績確認と担当課責任者による評価を行ったうえで、外部有識者の評価を受け、その後、最高意思決定機関である庁議において審議を行った後、市議会での審議を経て結果を公表します。



4. 評価の方法

別紙の評価シートにより、総合戦略に掲載した数値目標、重要業績評価指標（KPI）及び具体的な事務事業における令和5年度実績の評価を行います。また、国の交付金を活用した事務事業については、交付金実施計画提出の際に設定した目標値に対する評価も行います。

評価シート1 数値目標の実績と評価

評価シート2 重要業績評価指標（KPI）の実績と評価

具体的な事務事業の実績と評価

国の交付金を活用した事務事業の実績と評価

※深川市過疎地域持続的発展市町村計画における達成状況の評価について

過疎対策に必要な施策の推進にあたっては、人口ビジョン及び総合戦略と整合性が図られた内容としていることから、「まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会」における毎年度の事業効果の検証をもって、本計画の達成状況の評価としています。